

逗子市におけるカーボンニュートラルのまちづくりに向けた包括連携協定の締結について

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社（社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」）は、このたび、逗子市（市長：桐ヶ谷 寛）とカーボンニュートラルのまちづくりに向けた包括連携協定（以下「本協定」）を締結しました。

逗子市では、2023 年度に改定した「逗子市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）」に基づき、カーボンニュートラル社会の実現に向けて、温室効果ガスの排出量削減に取り組んでいます。

本協定は、そうした取組をさらに加速するものであり、地球温暖化防止対策を推進するとともに、地域の課題解決と更なる魅力創出等、地域の一層の発展を図り、持続可能なまちづくりの実現につなげていきます。



（左から 逗子市長：桐ヶ谷 寛、東京ガス常務執行役員：小西 雅子）

【連携事項】

- (1) カーボンニュートラルのまちづくりに向けた取組のトータルコーディネートに関する事項
- (2) エネルギーの地産地消に関する事項
- (3) 個人、事業者への太陽光発電設備等の普及に関する事項
- (4) 低炭素エネルギーの調達や公共施設等への供給に関する事項
- (5) エネルギーデータの活用等によるエネルギー利用の最適化に関する事項
- (6) 地域のレジリエンス強化に関する事項
- (7) 地域の目線での新しい価値の創出に関する事項
- (8) 学校等における環境エネルギー教育や食育等を通じた啓発活動に関する事項
- (9) カーボンニュートラルのまちづくりに向けた取組における専門的人材の支援強化に関する事項
- (10) カーボンニュートラルのまちづくりに係る魅力等の情報発信に関する事項
- (11) ブルーカーボン等に関する取組を通じた地域の環境保全や住民へのサービス向上、その他カーボンニュートラルのまちづくりに関する事項

【締結日】

2024 年 10 月 10 日

【関係者コメント】

◆逗子市 市長 桐ヶ谷 寛 コメント

逗子市では、2022 年 1 月に、脱炭素社会の実現に向け「チャレンジ！逗子カーボンニュートラル 2050」をスローガンに掲げ、2050 年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指すことを表明しました。

また、2023 年度に「第二次逗子市環境基本計画」の改定に合わせ、「逗子市地球温暖化対策実行計画」を区域施策編と事務事業編を一元化した計画へと改定し、市民・事業者と一体となり、カーボンニュートラルのまちづくりの実現に向けた取組を進めています。

本協定の締結により、東京ガス株式会社の有する専門的な知見を活かし、緊密な連携に基づいた様々な取組等を実施できますことは、大変心強いものであると感じています。

この度の協定の締結を契機にこれまでの環境政策をより一層強化し、「脱炭素社会の実現」に向けた取組の推進を加速していきます。

◆東京ガス株式会社 常務執行役員 地域共創カンパニー長 小西 雅子 コメント

当社は、東京ガスグループ 2023-2025 年度中期経営計画「Compass Transformation 23-25」において、「エネルギー安定供給と脱炭素化の両立」「ソリューションの本格展開」を掲げ、多くの企業・自治体の皆さまとの協業を通じ、カーボンニュートラル社会の実現に向けた取組を進めています。昨年 11 月には、エネルギーの枠を超えてお客さまが抱える課題を解決するソリューションブランド「IGNITURE（イグニチャー）」を立ち上げました。

本協定の締結により、市と市民・事業者が相互に協力し、「カーボンニュートラルのまちづくり」に向けた取組を推進している逗子市とともに、当社グループが創業以来培ってきたお客さまからの「信頼」や、「地域密着力」を活かし、カーボンニュートラル社会の実現に向けて連携できることを大変嬉しく思います。

逗子市とはこれまでも、環境や防災のイベント等の取組を通じて連携を深めてきました。今後も、逗子市との価値共創により、地域課題の解決および持続可能なまちづくりに取り組んでいきます。

（参考）ソリューション事業ブランド「IGNITURE（イグニチャー）」について



東京ガスは、「ソリューションの本格展開」に向け、2023 年 11 月 30 日、ソリューション事業ブランド「IGNITURE」を立ち上げました。「IGNITURE」の下で展開するソリューションにより、ご家庭、法人、地域・コミュニティのお客さまが、「最適化による経済性・利便性・効率性向上などでさらに豊かな未来」と、「脱炭素・レジリエンス向上などでサステナブルな生活・事業」を、無理なく両立できます。

IGNITURE の詳細は[こちら](#)

以上